

# GPS首輪のデータ利用 に向けての取り組みと課題



特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所  
工藤 知美

# シカにGPS首輪を装着する理由

シカの個体数増加による問題

- ・農業被害
- ・生態系の破壊
- ・交通事故

各地でシカの個体数調整に向けた取り組みを実施

効果的な捕獲 ⇒ シカの行動把握が必要

GPS首輪から得られる位置データ

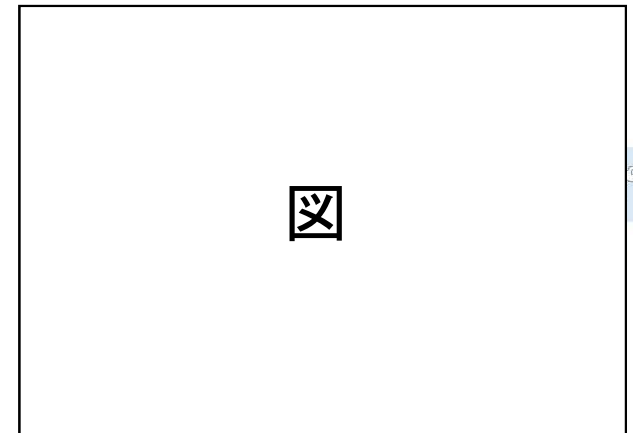
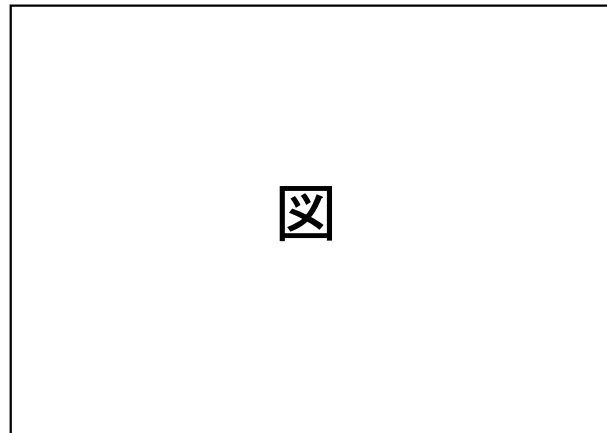
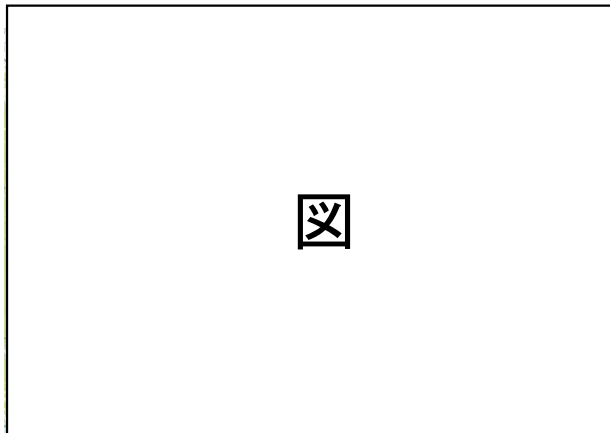
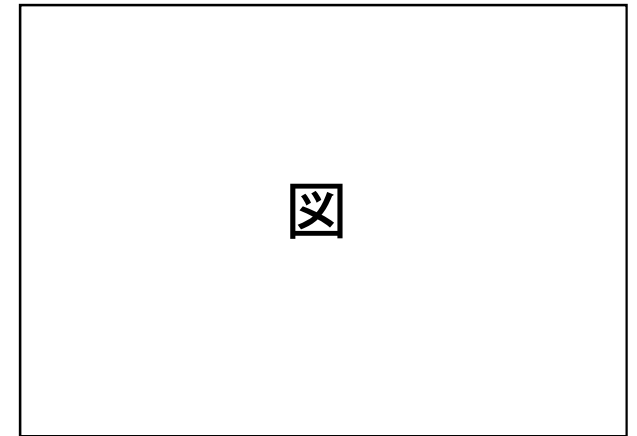
# GPS首輪データの取得方法



GPSが内蔵された首輪をシカに装着することで、  
⇒シカの位置情報(緯度経度・標高など)の把握が可能

# なぜデータ共有が必要なのか

- ・現在、データの管理は所有者ごと
- ・全てのデータを同時に見ることはできていない



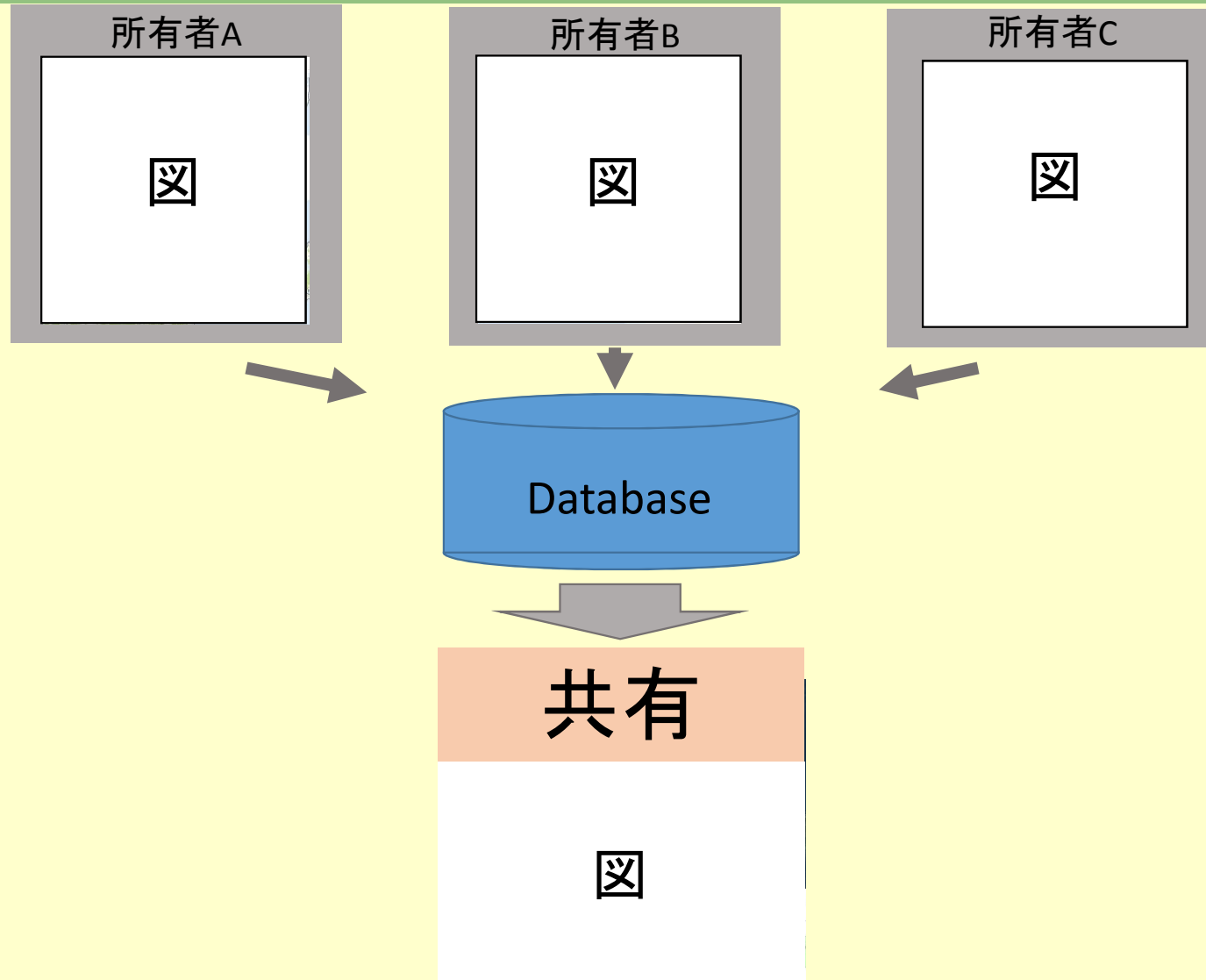
# なぜデータ共有が必要なのか

データを共有し、1枚の地図に表示することで  
地域のシカの様子を客観的に評価することができる。



図

所有者の異なるデータを一つにまとめ、共有する仕組み(イメージ)



# GPS首輪のデータ利用に関する勉強会



<開催日時>

平成28年度4月26日

<開催場所>

酪農学園大学東京オフィス

<参加者>

行政機関

- ・環境省
- ・林野庁

大学研究機関

- ・酪農学園大学

民間団体

- ・(同)東北野生動物保護管理センター
- ・(財)自然環境研究センター
- ・(株)野生動物保護管理事務所

# 日本全体で見ると・・・





# 2016年度哺乳類学会でシンポジウムを実施



<開催日時>

平成28年

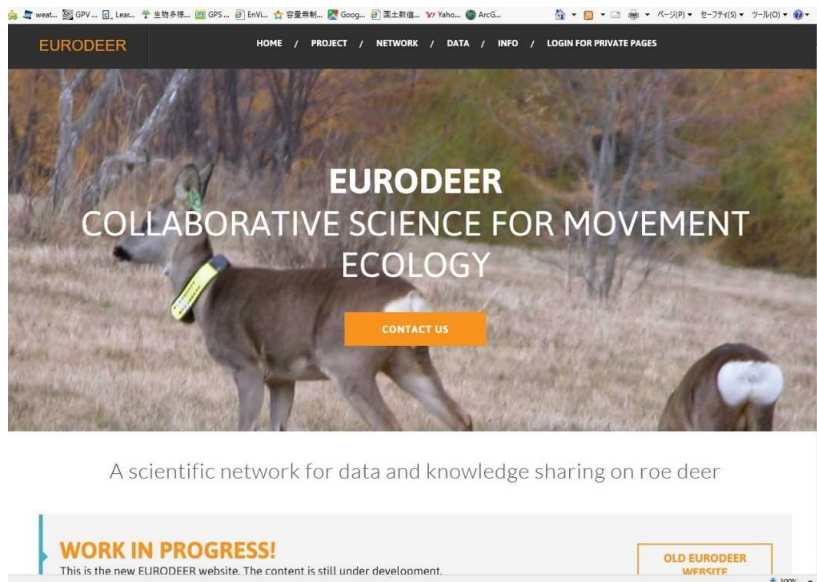
9月23日(金)～26日(月)

<場所>

筑波大学(茨城県つくば市)

# 海外事例: EURODEER

- ・ヨーロッパで実施されている取り組み
- ・2000頭のシカのVHF・GPSデータが格納されているデータベース
- ・各自が所持しているデータを提供すると、データベースに格納されているすべてのデータを見ることができる



# GPS首輪データ共有の課題

## ● 運営の体制を整える

- ・関係者
- ・ルール作り

- ・誰がデータベースを作成するか？
- ・今後の運営は誰が中心となるのか？ など

- ・データには閲覧制限をかけるか？
- ・ダウンロード制限をかけるか？ など

## ● GPSデータを共有するためのHP作成

今後作成を目指したいと考えている機能

- ・パスワード付き ・シンプルな作り
- ・ポイントの検索(時期指定・場所選択の機能)